

日本化薬グループのガバナンス体制および内部統制体制

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

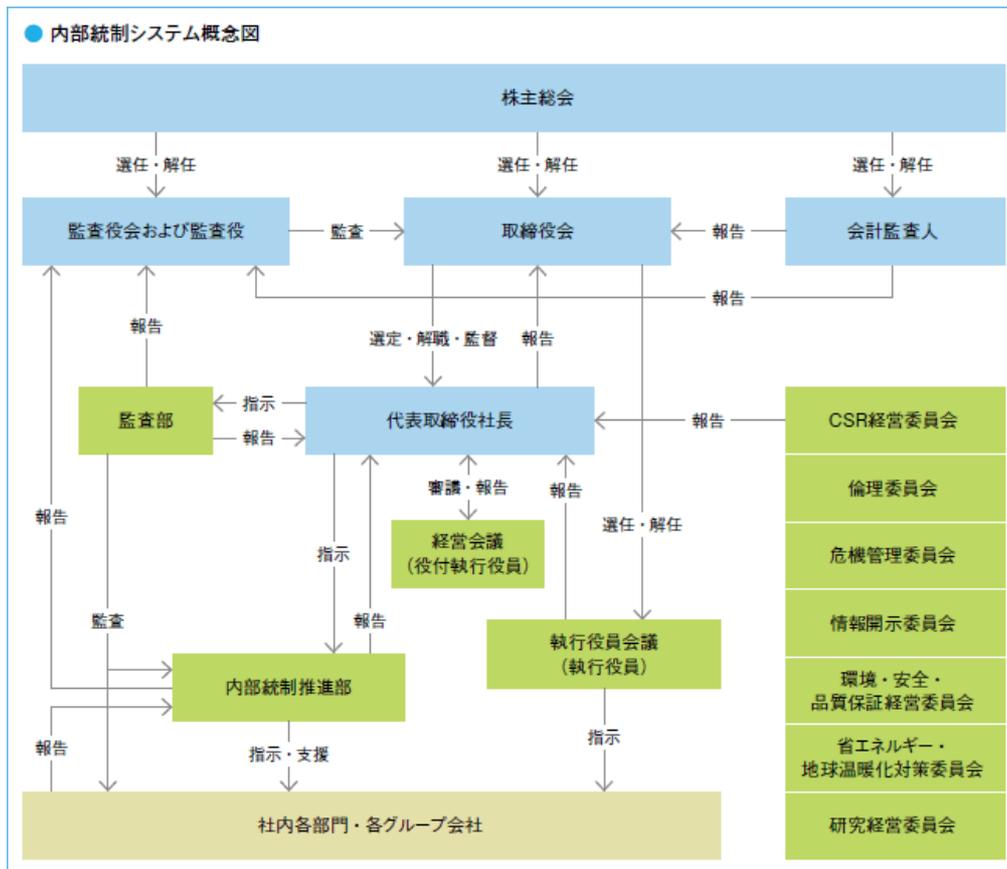
日本化薬グループは、社会から信頼される企業であるために、株主・投資家の皆さまへのタイムリーかつ公正な情報開示、チェック機能強化による経営の透明性の確保が重要な課題であると認識し、自律的なガバナンスを整備しています。

コーポレート・ガバナンス体制

日本化薬グループは、取締役会の合議制による意思決定と監査役制度によるコーポレート・ガバナンスが経営機能を有効に発揮できるシステムであると判断しています。

2005年8月から、経営の「意思決定・監督機能」と「業務執行機能」の役割を明確に分離し、それぞれの機能を強化して適切な意思決定と迅速な業務執行を行っています。また、経営責任および執行責任の明確化のため、取締役と執行役員との任期を1年としています。さらに、2013年6月から社外取締役を選任しました。これにより、経営の透明性を高めるとともに、コーポレート・ガバナンス体制のさらなる強化を図っています。

当社は監査役会設置会社で、社外監査役3名を含む5名の体制です。監査役が取締役会等の各種社内重要会議に出席する他、内部監査部門との情報交換等を通じ、独立した立場から取締役の職務執行の監視、監督を行っています。



内部監査および監査役監査の状況

内部監査について、不正・錯誤の未然防止、業務改善、資産の保全などに資するために、社長直轄の組織として監査役会とは別に社内組織の監査部を設置し、年度計画に基づきグループ会社を含む業務監査を実施しています。

監査役監査について、各監査役は監査役会が定めた監査方針、監査計画および監査業務分担に基づき、取締役会などの重要会議への出席、業務執行状況の監査などを通じ、独立した立場から取締役の職務執行の監視、監督を行っています。

リスク管理体制

日本化薬グループは、リスクの発生を回避するとともに、発生した際の損失を最小限に抑えるための総合的なリスクマネジメントを行っています。

2000年に「危機管理マニュアル」を、2004年に「危機管理委員会規程」を制定し、危機管理体制を整えました。

発生リスク情報を速やかにトップへ連絡する体制を整備すると共に、危機管理を要するリスクごとに主管部門を定め、個別リスクの予防・回避を図り、是正措置を講じます。

個別リスクとして、地震を中心とした自然災害リスク・公害、環境汚染、事故（生産・物流）関係リスク・製品関係リスク・信用失墜リスク・会社に対する犯罪リスク・役員、従業員及びその家族に対する犯罪リスク・海外駐在員、海外出張者関係リスク・訴訟提起リスク・人事、労務関係リスク・特許訴訟リスク・感染症リスク等を取り上げています。

リスクマネジメント推進活動

日本化薬グループは、リスクマネジメント担当部門が策定し、危機管理委員会が承認した年度ごとの「リスクマネジメント行動計画」を確実に実施し、リスク意識の向上及び発生リスク情報を速やかにトップへ連絡する体制の整備とリスクの低減活動を図っています。

日本化薬グループのBCPへの取組み

2011年3月11日発生の東日本大震災と津波の影響による教訓を活かし、2012年度から毎年本社においてBCP訓練を実施しております。ここでは事業継続計画（BCP）への取組みをご紹介します。

▶ [2014年度防災訓練の調査](#) PDF

BCP訓練

日本化薬では2011年度に内部統制推進部を中心として、全事業部が参画して組織横断的なBCPプロジェクトを立ち上げ、BCPマニュアルを策定しました。このBCPマニュアルは「目標期間内に事業を復旧する」考えのもと、事業本部ごとに対策本部を立上げる体制と、重要業務を選定し、復旧のための資源を集中配分する体制をとることにしました。また、各事業場に衛星電話を設置するとともに、BCPの観点を加えた「戦略在庫」を別途設定し、管理する体制としました。その一方で、制定したBCPを速やかに稼働させるためには、継続的な訓練が重要であると認識いたしました。

BCP訓練には社長をはじめすべての役員が参加し、2012年度は機能化学品事業本部、2013年度は医薬事業本部、そして2014年度はセイフティシステムズ事業本部において実施しました。

2014年度のBCP訓練は、「中国の化薬(湖州)安全器材有限公司

(KSH) が被災し、操業が停止した。」というグローバルな観点での想定の下で、本社、姫路工場とKSHの3拠点をネットワークで結び、生産調整・出荷対応を行いました。その結果、3拠点で情報の収集と共有をネットワーク上でいながら、目標の対応案を策定することができました。訓練の評価を依頼したコンサルタント会社からも緊急時の対応レベルが高いと評価されました。このようなBCP訓練はBCPマニュアルを「絵に描いた餅」にしないためにも今後も継続して実施していきます。



2014年度 防災訓練の調査

※1【総合防災訓練】所管の消防署と連携、通報・避難・消火等の訓練

※2【衛星電話訓練】BCP対応のため、2012年6月より毎月1回衛星電話のかけ方の訓練

	各事業場/会社名	総合防災訓練	通報訓練	火災初期消火器・放水訓練・消防訓練	地震想定訓練	避難訓練	漏洩訓練	負傷者搬送及び救護訓練	AED訓練	土震訓練、煙ハウス体験	講習会及び勉強会	衛星電話訓練
1	日本化薬株：本社	●	●	●	●	●	—		●	—	●	●
2	福山工場/日本化薬福山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3	厚狭工場	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
4	東京工場/日本化薬東京	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	高崎工場	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	姫路工場	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
7	鹿島工場		●	●	●	●	●	●	●		●	●
8	東京事業所/東京事業区	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●
9	株ボラテクノ	●	●		●		●					—
10	モクステック					●	—		●		●	—
11	無錫宝来光学科技		●	●		●	—				●	—
12	デジマテック			●		●	—	●	●	—	●	—
13	ボラテクノ (香港)			●						—		—
14	ニッカファインテクノ			●	●		—			—	●	—
15	ニッポンカヤクコリア					●				—		—
16	ニッポンカヤクアメリカ					●	—			—		—
17	ユーロニッポンカヤク		●							—		—
18	化薬化工 (無錫)	●	●	●		●		●			●	—
19	マイクロケム			●		●	—		●	—	●	—
20	無錫先進化薬化工	●		●		●	●	●			●	—
21	招遠先進化工			●				●			●	—
22	上海化耀国際貿易						—			—	●	—
23	日本化薬フードテクノ	●	●	●	●	●		●				—
24	TDサポート					●	—			—		—
25	日本化薬メディカルケア	●	●	●	●	●	—	●		—	●	—
26	ナック	●	●	●	●	●		●			●	—
27	台湾日化股分					●	—			—		—
28	ｲﾝﾃﾞｯﾄ ﾍﾞｲﾌﾟﾗｲﾝｽﾀﾑﾝ		●	●		●	—	●		—	●	—
29	化薬 (湖州) 安全器材	●		●		●	—			—	●	—
30	ｶｸﾞ ﾍﾞｲﾌﾟﾗｲﾝｽﾀﾑﾝ ﾃﾞ ﾙ ﾏ ﾗ ﾗ ﾗ			●		●	—	●		—	●	—
	ｶｸﾞ ﾍﾞｲﾌﾟﾗｲﾝｽﾀﾑﾝ ﾏ ﾗ ﾗ ﾗ ﾗ										●	
31	西港自動車学校	●	●	●			—			—		—
33	和光都市開発	●	●		●	●	—	●		—	●	—
34	ニコス		●		●		—	●	●	—		—
35	日本人材開発医学研究所					●	—			—		—
36	沖浦ゴルフセンター		●	●			—	●		—		—
37	厚和産業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
38	群南産業	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—
39	化薬アクゾ株本社	●	●	●	●	●	—			—		—
	化薬アクゾ株厚狭工場	●	●	●	●	●	●	●	●	—		—
40	カヤク・ジャパン株本社	●	●	●			—			●	●	—
	カヤク・ジャパン株厚狭工場	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
41	三光化学工業		●	●	●		—			—	●	—